

令和4年度高梁・新見地域認知症疾患医療センター地域連携会議  
高梁部会研修会（第2回）

日時：2023年3月4日(土) 13:30～15:00

場所：高梁文化交流館 3階 中ホール

参加者：20名

テーマ：「認知症つながる心が笑顔呼ぶ～認知症の方や介護家族の想いを聴く～」

認知症が発症してから診断がつくまで、及び診断がついてから支援やサービス利用が始まるまでの「サイレント時間」に焦点を当て、その時期に当事者は何を思うのか、認知症についての理解を深め、暮らしやすい社会を目指していく一助となるような研修会を行いました。

1. 開会挨拶

こころの医療たいようの丘ホスピタル（認知症疾患医療センター）センター長 兒玉昌純

2. 高梁市地域包括支援センター紹介

高梁市地域包括支援センター 藤森由美子氏

地域包括支援センターでの業務内容、大切にしている視点等ご紹介いただきました。

3. 講演「認知症の方や介護家族の想いを聴く」

認知症に関心を持たれている地域住民の方を対象に、認知症の人と家族の会岡山県支部代表安藤光徳氏と当事者の方から、認知症についてのご講演をいただきました。

実際に認知症と診断されたご本人からは、診断時の状況を踏まえながら、その時の気持ちや葛藤をされながらも地域での生活を続けてこられた様子が語られました。

介護家族の立場からは、地域での生活を続ける上で、認知症の方本人との過ごし方、認知症であることを地域住民に開示した時の気持ち、近隣住民からの支えについてお話があり、参加者からは「そうそう」と共感する声も上がっていました。

安藤氏からは認知症の方の地域生活を阻んでいるものは何か、介護の極意について実情を交えながらお話があり、実際に聴講した参加者からは、かかわり方のポイントや自身がやりたいことを続けていくために取り組まれたことは何か等、当事者の気持ちを知ろうと質問もよせられました。

4. 閉会挨拶 高梁市地域包括支援センター 所長 内岡登美香氏